

---

第 37 報 [最終号] 2020 年 1 月 17 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

当会では、2016年4月15日（第1報）より、震災発生直後には被災地の主要資材の供給情報について、さらに、復旧・復興工事の本格化に伴い、被災地の主要建設資材等の価格および需給動向について、提供してまいりました。

現状としましては、震災関連の復旧・復興工事は継続して実施されているものの、震災発生から4年近くが経過するなか、需給動向、市況変動とも比較的落ち着いた状況となっています。熊本市内では、需要の中心は熊本駅前の大型再開発等に移っており、復興需要の一服から価格下落に転じた資材も見られるなど、通常の需給構造・市況変動へと戻りつつあるものとみられます。

以上より、今号をもちまして、「平成28年熊本地震 災害復旧資材供給情報」を終了させていただきたいと思えます。以降も、『月刊 積算資料』にて引き続き、最新価格の調査を行い皆様に提供してまいります。

最後になりましたが、被災されました方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、調査にご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の12月の出荷量は6万5,043m<sup>3</sup>と前年同月比9.9%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連向け出荷は一服しているものの、熊本駅前の再開発等大型民需があり、今後も需要は堅調に推移する見通し。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。原材料費、輸送コスト等が高騰するなか、熊本地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の12月の出荷量は2万468m<sup>3</sup>と前年同月比33%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。大型物件向けの出荷は一服感が出ており対前年割れの状況が続いている。ただ、震災復興関連工事向け需要は依然として続いており、今後も例年以上の出荷は見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【コンクリート用砕石】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本駅前の再開発工事等大型民需向けなどで生コン出荷は堅調に推移しており、原材料の骨材需要も旺盛なものとなっている。供給側は増加する需要に対応するため設備更新を行う等、安定供給体制の維持に努めているが、各社とも高い水準での生産状況が続いており、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区でm<sup>3</sup>当たり3,400円。阿蘇地区でm<sup>3</sup>当たり3,900円どころ。熊本地区砕石共販協同組合では、強固な共販体制を背景に、現行価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の11月の製造数量は7万1,080tと前年同月比約19.9%減（日本アスファルト合材協会調べ）と大幅に減少している。大型物件に乏しく、熊本市中心部の需要は精彩を欠いている。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり10,700円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。供給側は従前からの製造コスト・運搬コストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、需要が盛り上がりや欠くなか、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【2020年1月10日現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	均衡	均衡	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40~0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2019年 9月号	150円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2019年 10月号	300円下落	t	10,700	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【2020年1月10日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格は、SD295A・D16で前月比横ばいのt当たり6万7,000円どころ。原料の鉄屑価格の上昇を背景に、メーカー各社は値上げを表明しているが、需要が盛り上がりを欠く中、交渉は難航。今後の鉄屑市況に不透明感が強まる中、需要者側は様子見の構えをみせている。目先、横ばいで推移の見通し。	緩和	緩和	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,350円と前月比横ばいで推移。需要は盛り上がりを欠いており、需要者側も当用買いの姿勢を維持している。今後の需要回復も期待薄の状況であり、目先、横ばいで推移の見通し。	緩和	緩和	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

# 【主要資材の価格推移】





